

# 「24時間 EVユビキタスネットワーク」を核とした 佐賀県EV・PHVタウン構想の概要



H25年2月7日

佐賀県農林水産商工本部新エネルギー課



# 佐賀県の概要



佐賀県は九州の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄界灘、南は有明海に面しています。東京まで直線距離で約900km、大阪まで約500kmであるのに対し、朝鮮半島までは約200km足らずと近接しており、大陸文化の窓口として歴史的、文化的に重要な役割を果たしてきました。



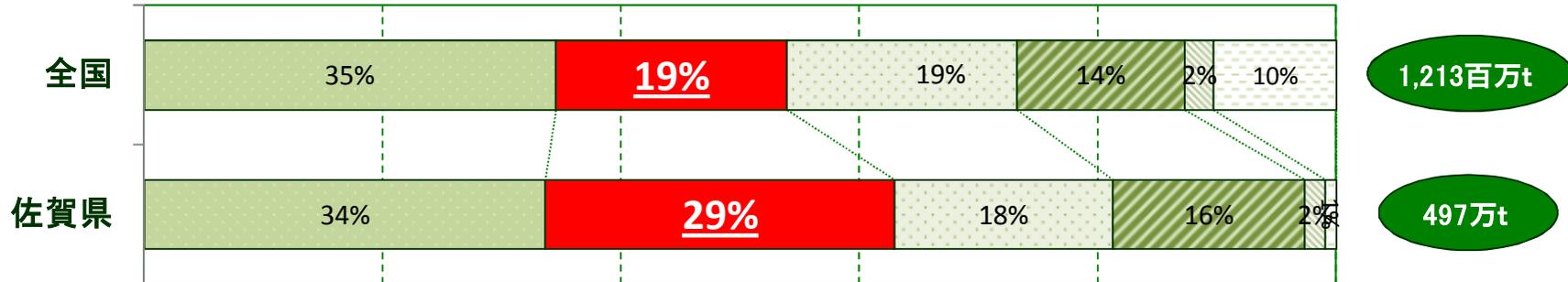
- ・面積 約2,400km<sup>2</sup>(国土の約1%)
- ・人口 843,302人(2012年10月)
- ・世帯数 300,134世帯
- ・車両保有台数 661,953台



# 佐賀県の温室効果ガスの排出状況とEV・PHV

## ■二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量(2008年度)

□産業部門 ■運輸部門 □業務部門 ■家庭部門 □廃棄物部門 □その他部門



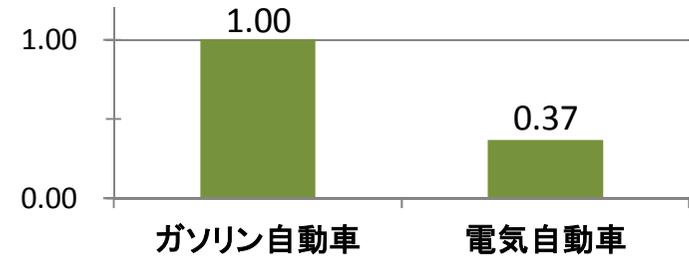
佐賀県の運輸部門からのCO<sub>2</sub>排出量は全排出量の29%を占めている



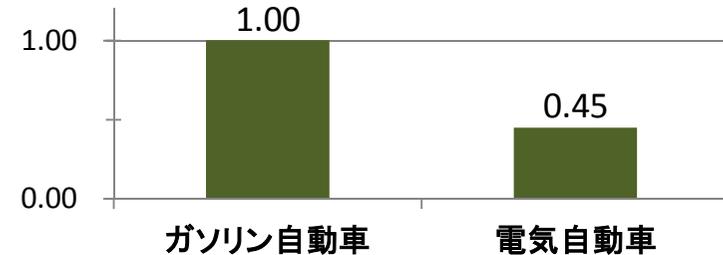
これを大幅に削減するため、EV・PHVの普及促進による地球温暖化防止への貢献と併せ、関連する産業の振興を図り、自律的な地域づくりを目指していく。

### 【参考】

■車の走行のために排出されるCO<sub>2</sub>の量  
(ガソリン自動車を1とした場合の比較)



■車を走らせるのに必要な原油等のエネルギー投入量  
(ガソリン自動車を1とした場合の比較)

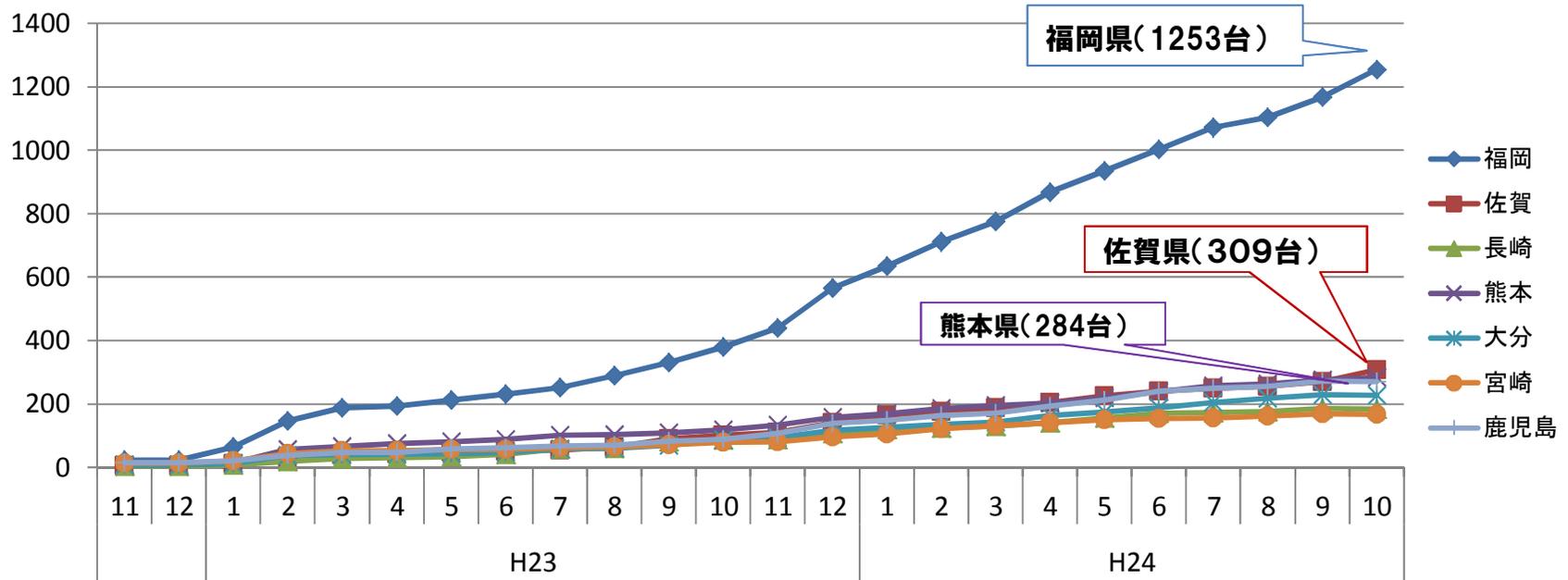


※(財)日本自動車研究所「総合効率とGHG排出の分析」(H23.3)から作成



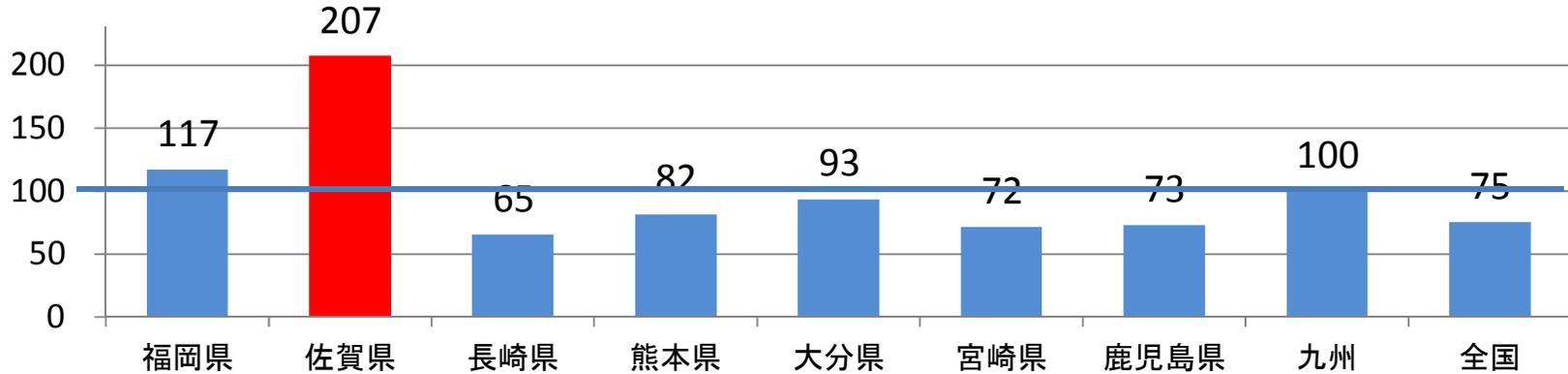
# EVの普及状況(九州)

## 九州各県の電気自動車保有台数の比較



国土交通省九州運輸局「燃料別等自動車保有台数」(各月末)より作成

九州世帯当たり平均普及率を100とした場合の各県の比較 (H24.10末現在)



※世帯数は平成22年国勢調査の一般世帯数による



# EVの普及状況(全国比)

## 普及率のトップ5

2012年9月末現在

	全保有台数比 (10000台あたり 軽自動車を含む)	人口比 (10000人当たり)	世帯数比 (10000世帯当たり)
1位	神奈川県(9.4台)	<b>佐賀県</b> (4.6台)	<b>佐賀県</b> (12.4台)
2位	<b>佐賀県</b> (6.1台)	岡山県(3.9台)	岡山県(9.6台)
3位	東京都(6.0台)	神奈川県(3.8台)	群馬県(8.9台)
4位	岡山県(5.2台)	群馬県(3.5台)	神奈川県(8.6台)
5位	京都府(5.0台)	静岡県(3.0台)	山形県(8.3台)

※ 1) 神奈川県3,425台 佐賀県391台 東京都2,371台 岡山県760台  
京都府624台 群馬県696台 静岡県1,134台 山形県331台

2) PHVは含んでいない。

3) 佐賀県調べ



## 佐賀県 EV・PHV関連年表

- ・H21年11月 県庁公用車として初めてEV(i-MiEV)の導入
- ・H22年3月 公用車にPHVを導入
- ・**H22年12月** **EV・PHVタウン構想に選定**
- ・H23年2月 公用車にEV10台(LEAF7台、i-MiEV 3台)を導入
- ・H23年3月 ファミリーマート7店舗に急速充電器の設置
- ・**H23年4月** **佐賀県・日産自動車・ファミリーマート三者協定**
- ・H23年5月 佐賀県EV・PHVタウン マーク制作
- ・**H23年7月** **県議会でEV・PHVタウン構想関連予算の成立**
- ・H23年8月 EV・PHV購入補助金、充電器設置補助金創設
- ・**H23年11月** **佐賀県総合計画2011策定** EV・PHVの普及台数 1000台(H25年度末)
- ・H23年10月 1万人ローラー試乗会実施
- ・H23年10月 軽トラック改造EV
- ・H24年2月 土日レンタカー、EV・PHVサポートショップ、県民サポーター事業
- ・H24年3月 主要駅等に急速充電器の設置(4台)

◎EV・PHVの普及目標

2014FY 1,000台



マニフェスト(H23年4月)

電気自動車(EV)や水素燃料電池自動車(FCV)を普及させ、住宅用太陽光発電と並んで電気自動車保有率でも全国ナンバーワンになるように取り組み、併せて関連産業の集積をめざします。

<佐賀県総合計画2011 進・重点項目>

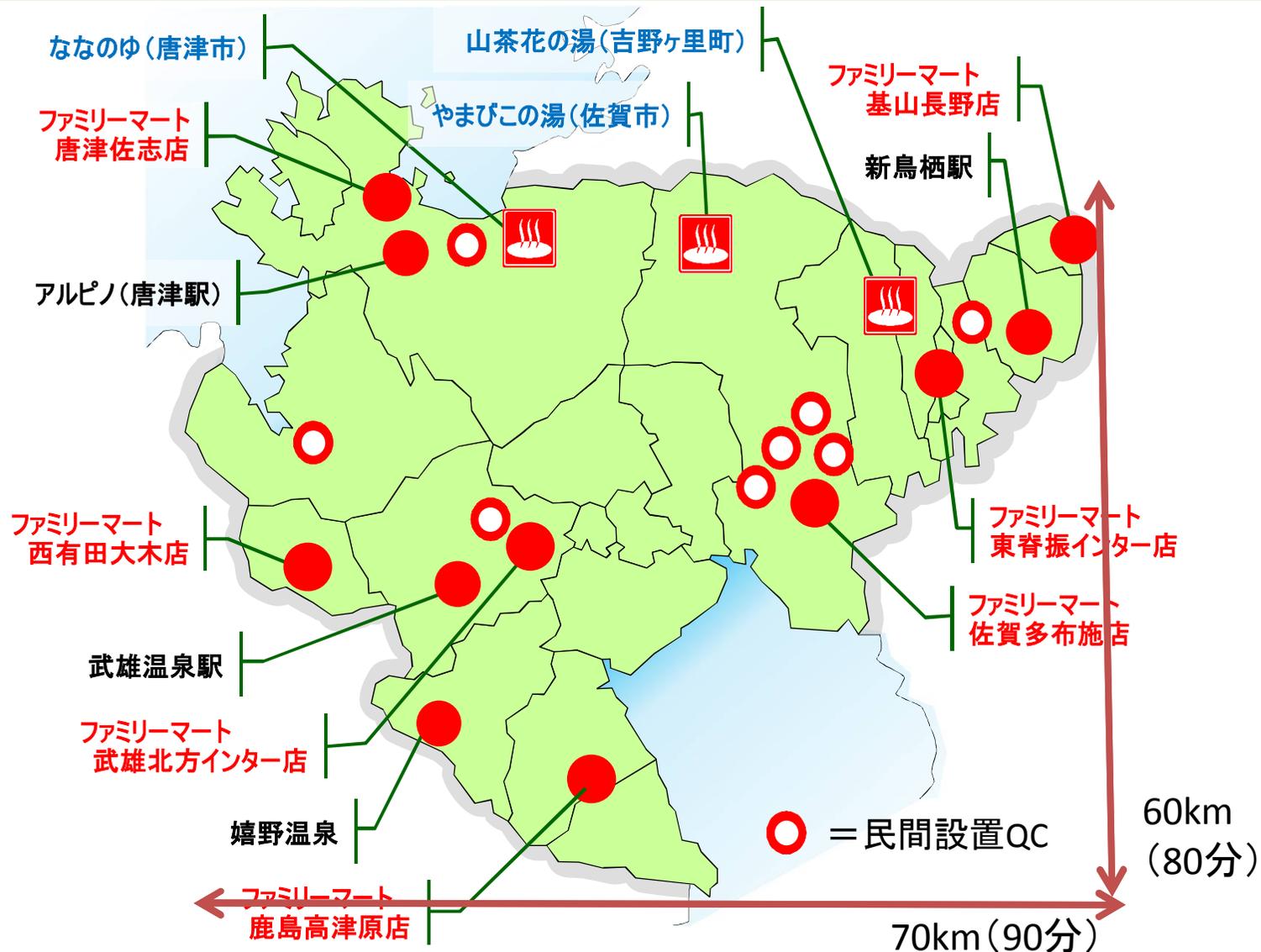
電気自動車(EV)・水素燃料電池自動車(FCV)等の普及と関連産業の集積



# 24時間EVユビキタスネットワーク

## 「24時間 EVユビキタスネットワーク」とは

佐賀県では、EVの普及促進のため、EVを充電切れの心配なく安心して利用できるよう、“いつでも・どこでも・だれでも”使える充電スポット(急速充電器)を県全域にバランスよく整備する「24時間 EVユビキタスネットワーク」の構築を進めています。





# 佐賀県・日産自動車(株)・(株)ファミリーマート連携協定締結式

- ・日時 平成23年4月20日
- ・会場 佐賀城本丸歴史館



- 1 24時間EVユビキタスネットワーク(いつでも、どこでも、だれでも充電が可能な環境づくり)の推進に関する事
- 2 その他、佐賀県EV・PHVタウン構想の推進等、より効果的な電気自動車普及促進活動の実践に関する事

佐賀県	ファミリーマート	日産自動車
<ul style="list-style-type: none"> <li>・急速充電器の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急速充電器の敷地内への無償設置の承認</li> <li>・充電器運用の協力</li> <li>・課金の運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安価な急速充電器の供給</li> <li>・急速充電器の設置、維持等に関する各種情報の提供、アドバイス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電器の通常管理と来客数等との変化の実証データの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課金システム、空き情報システム、予約システム等の実証実験の検討</li> </ul>



# EV・PHVに関する主な事業

## 『24H EVユビキタスネットワーク』を核とした佐賀県EV・PHVタウン構想

いつでも(24時間)、どこでも、だれでも利用できる充電スタンドを県全域に整備する『24H EVユビキタスネットワーク』を構築し、「EV・PHVが安心して走れる佐賀県」を醸成することによりEV・PHVの普及促進を図る。

### 24H EVユビキタスネットワーク(充電インフラ)整備

- 急速充電器を、県内7カ所のファミリーマートに加え、県内主要駅4カ所に設置
- 誰でも使える普通・急速充電器の設置に対する補助金を創設
- 充電設備を有し、EV・PHV ユーザーを支援する「EV・PHVサポートショップ」の募集

### 一般向け購入補助金

- 安心して走れる環境を整備するとともに、初期需要創出が重要であることから、県民及びタクシー、レンタカー事業者のEV・PHV等購入費に対する補助金を創設

### 一万人ローラー試乗会

- CSO\*と連携し、EV・PHVの試乗会を全県域で実施 ※市民社会組織(Civil Society Organization)
- 県所有の電気自動車を活用し、休日にレンタカー事業を実施
- EV・PHVの良さを伝える応援団「県民サポーター」の募集、登録

### 軽トラックの改造EV化

- 田園地域の重要なモビリティである軽トラックの改造EV化に取り組むことにより、県内事業者のEV・PHV関連産業の可能性を探る

### 県・市町での率先導入

- 県公用車にEV・PHV12台導入、市町でも率先して導入



あなたと、コンビニ、

**FamilyMart**

- ・ファミリーマート 7店舗
- ・店頭で、利用料金500円と引き換えにQCの鍵を渡し、充電終了後に鍵を戻してもらう。

- ・唐津駅アルピノ、武雄温泉駅、嬉野温泉の3カ所
- ・佐賀県が設置した急速充電器(QC)と自動販売機を連結し、料金(500円/1回)の徴収を自動販売機で行う(予定)。



急速充電器(QC)



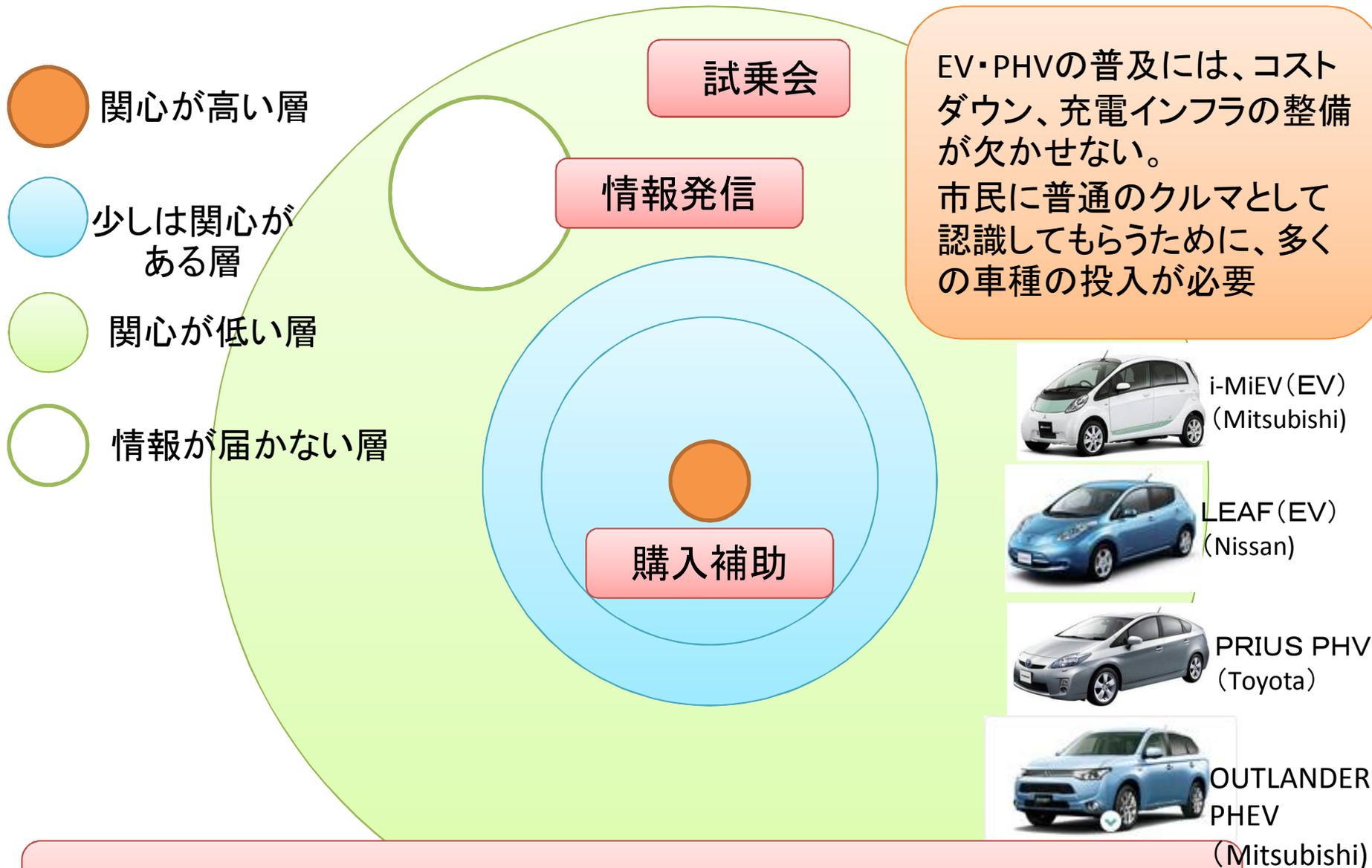
自動販売機

飲料用自動販売機の商品選別ボタンにQCの充電ボタン(500円)を設け、このボタンを押すことでQCが使える仕組み。

※自律した充電ビジネスが展開できるまでは、電気料金の低減措置が必要



# EV・PHVの普及のために



・安心して走行できる充電環境の充実 ⇒ QC・NC設置、QC・NC補助

1日でも早く、EVで**日本縦断**ができますように・・・

ご清聴ありがとうございました。



感謝：  
経済産業省  
日産自動車株式会社  
株式会社ファミリーマート